

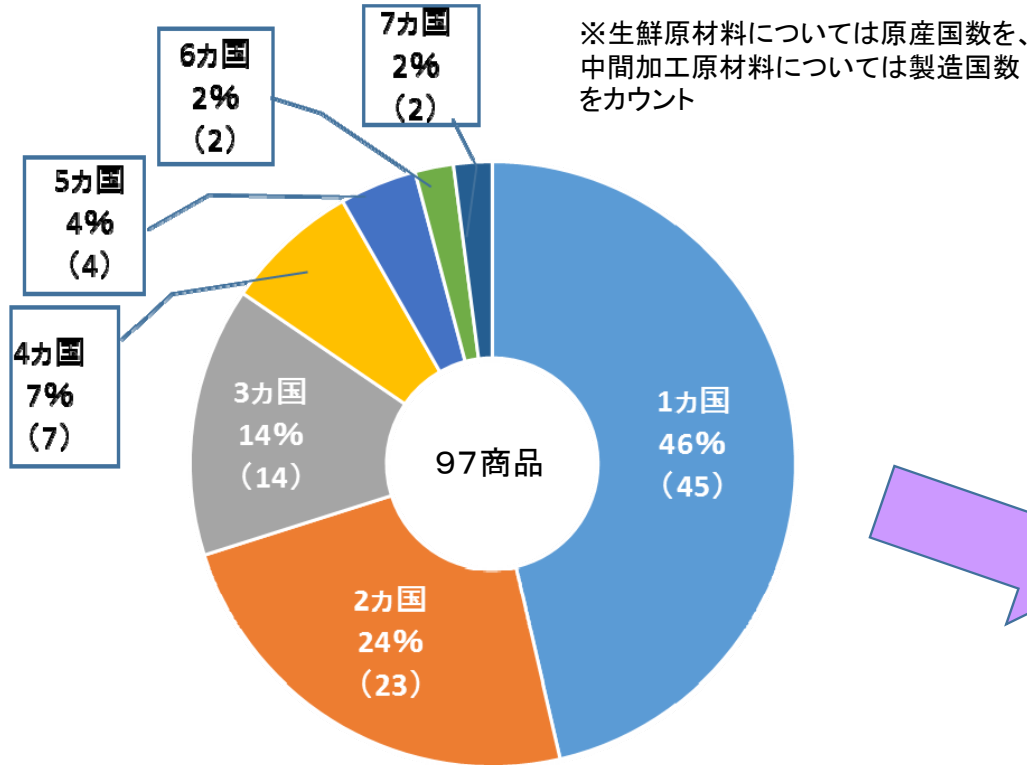
# 原料原産地表示の想定される状況について

平成28年10月5日

農林水産省

# 原料の産地(使用している原産国あるいは製造国数)の使用状況

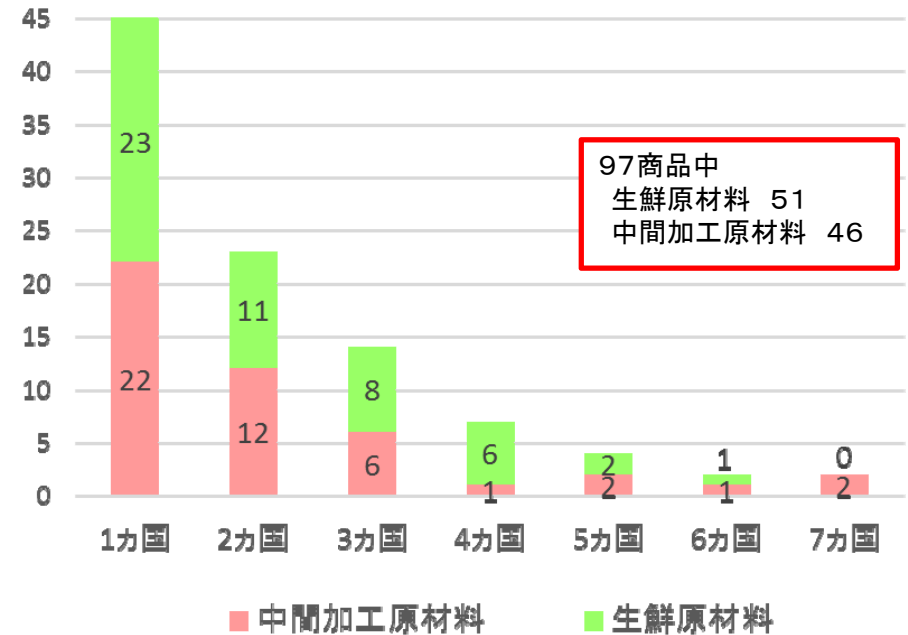
上位1位の原料の原産国あるいは製造国数



・重量順位1位の原料について、生鮮原材料と中間加工原材料の別を調査

【結果】97商品中、生鮮原材料は51商品、中間加工品は46商品であった。

使用している原材料(上位1位)生鮮・加工の別



- 商品ごとに、重量順位1位の原料の、原産国あるいは製造国数を調査(中間加工原材料を使用している場合には、全て製造国数をカウント)
- 2014年と2015年と使用している国数が異なる場合は、多い方を採用

【結果】原料の原産国あるいは製造国が1か国の商品は、46%

※農林水産省が、平成28年2月9日～3月18日の間に、加工食品の製造工場等の33事業所へ行った調査(第3回検討会で報告)のデータを再集計

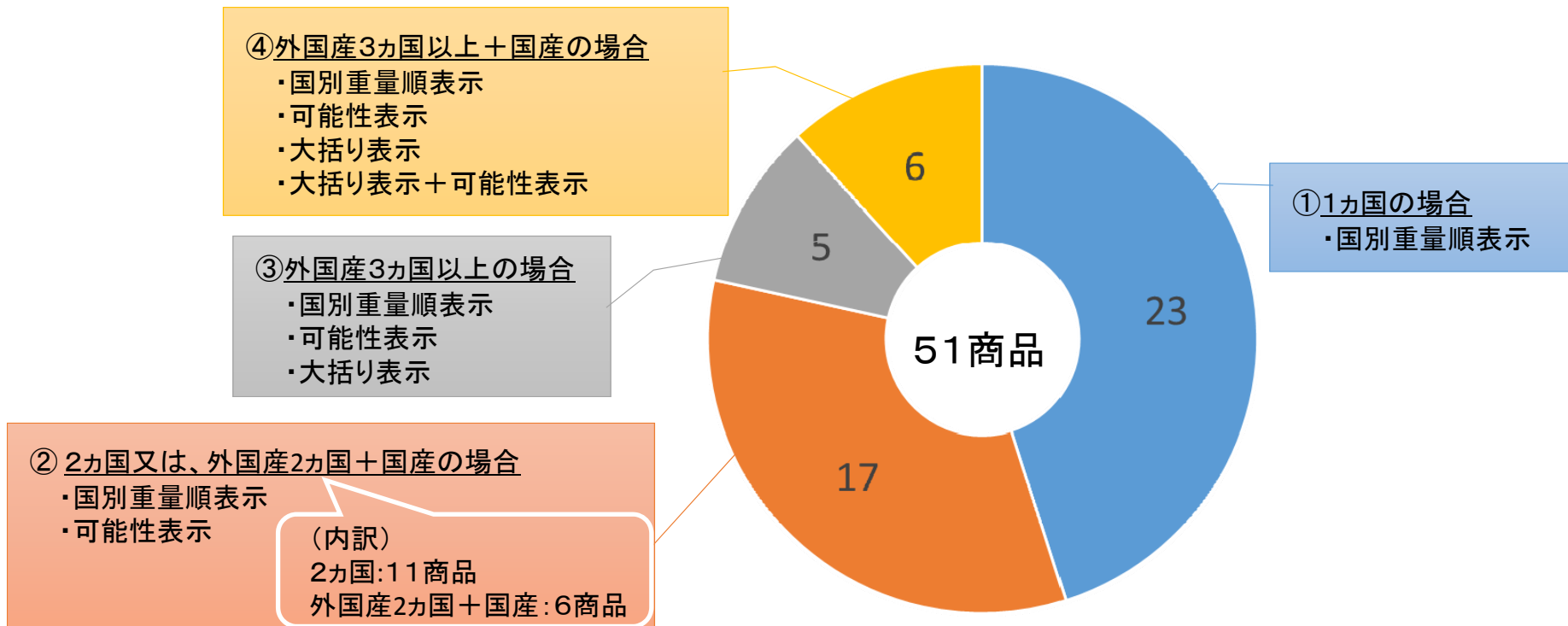
## 原料原産地表示の想定される状況について

### 《商品ごとに、重量順位1位の原料(生鮮原材料)の原産国を調査》

※2014年と2015年とで、原産国の数や国産の有無が異なる場合は、原産国数が多い方、または外国産と国産を併用している方を採用。

**【結果】51商品中、国別1カ国の表示となるものが23商品であった。**

### 原料原産地表示の想定される状況(生鮮原材料)



※第3回検討会で報告した事業者調査のデータを「今後の加工食品の原料原産地表示制度(案)」を基に再集計